

編集 staff

監修：片山 嘉政
編集長：小山 陽介
製作：岡村 晃平



編集後記

会報誌「鶴の声」も第5号の発行を迎えて非常に嬉しく思います。毎回発行に際し、取材協力、情報など提供いただき大変感謝しています。今後も卒業生の活躍の様子など数多くご紹介したいと思いますので、情報がありましたら鶴声会事務局までお寄せいただければと思います。

また併せて、多くの卒業生の住所不明者も多くあり、一つひとつ調査していますが、個人情報保護法などのこともあり、困難を極めています。お知り合いの方で、住所不明になっておられる方の連絡先がわかりましたら、ご一報くだされば幸いです。

今年度は鶴声会総会の開催年です。10月に開催をいたしますので是非お一人でも多くの皆様にご参加いただけますようお願いいたします。

くらしき作陽大学同窓会 鶴声会

〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾3515

Tel:086-523-0888

(大学代表番号)

Fax:086-523-0111

katayama@ksu.ac.jp

鶴の声

vol.5
2014.9

TOPICS

あの人は今
鶴声会近況報告
くらしき作陽大学イベント情報

鶴声会総会
10月11日(土)開催決定!!



ごあいさつ



くらしき作陽大学鶴声会

会長 井端 豊実

(音楽学部音楽学科4期生)

鶴声会会員の皆様、お変わりございませんか。

先ず、このたびの西日本各地において発生した豪雨土砂災害により、被災された皆様にお見舞い申し上げます。また、犠牲になられた方々にお悔やみを申し上げますとともに、一日も早い復旧復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、前回の総会では、岡山県支部の皆様のご支援により、くらしき作陽大学のキャンパスにて開催致しました。子ども教育学部の卒業生も含め、3学部揃っての初めての総会となりましたが、多くの参加をいただき無事盛会裏に終えることができました。平成8年津山市から倉敷市に移転。今では施設設備も充実し、倉敷の地にしっかりと根を下ろしたキャンパスを一人でも多くの会員の皆さんに見ていただきたく、大学関係者のご厚意により会場を提供していただきました。参加者の中には初めて訪れた方も多く、津山時代を懐かしむ反面、現在の立派な施設に驚きを隠せない様子でした。また、第1期生から第43期生まで幅広い中での懇親会となり随分話がはずみました。中でも、私も第4期生は、この

総会の場を卒業後初めての同窓会として呼びかけ多くの方に参加していただきました。卒業後、年を重ねる毎に母校への懐かしさも増し、本当に楽しい時を過ごすことができました。皆さんも総会を同窓会の場として位置付け集まりを計画されてはいかがでしょうか。

今では、同窓会活動も北は富山県から南は沖縄県まで20を超える支部が立ち上がり、それぞれに支部の実情にあった活動が展開されております。今後も新会員も含め多くの会員に声をかけていただき、充実した活動を展開していただきますとともに、まだ発足していない県や活動が伴っていない県につきましては、どうか、設立・活動に向け情報とご協力をいただきますようよろしくお願い致します。

ところで、我が母校は一昨年3月に子ども教育学部が初めて卒業生を送り出し、また、昨年4月にはくらしき作陽大学附属幼稚園が倉敷キャンパス内に開園しました。常に厳しい競争の中ではありますが、益々の充実発展を目指し頑張っています。ただ、音楽関係は全国的に学生確保に苦慮しているのが現状です。同窓生としても、今後大学と密接な連携を行う中で、この現状を何とか乗り越えることが出来ればと考えます。母校の発展を願い、会員皆様方の益々のご支援よろしくお願い致します。

最後に、会員皆様方の今後ますますのご活躍とご健勝を祈念し、併せて今後も同窓会鶴声会へのご支援、ご協力を切にお願いし挨拶とさせていただきます。



くらしき作陽大学

学長 松田 英毅

卒業生の皆さんにおかれましては、それぞれの地で元氣でご活躍のことと思います。

大学のキャンパスは年をおうごとに樹木が伸び、森の大学になりつつあります。吉野、八重と桜が咲き、つつじ、はなみずきと続いた色とりどりの花も終わり、今はそれぞれの木が真夏の太陽を一杯に受け、緑一色になっています。秋にはきれいな紅葉に変身します。

昨年度末に、「創立者 松田藤子先生の教え」を発刊しました。創立者が最初に教えた津山女子高等技芸学院から作陽音大迄の歴史と各学校の教え子の思い出、それぞれの学校で用いられた修養法話の教科書、あるいは創立者の恩師でありました住岡夜見先生のことばや伝言などを集めたものとなっています。各年代の卒業生の方々が、創立者の教

えを身にして、人生の難度海を堂々と渡り、いきいきと生きてこられた様が如実に語られ、大変ありがたい本となっています。ご一読をおすすめします。

また、創立者の教えをしっかりと後生に伝えるべく、大学図書館の中に松田藤子記念館（仮称）をつくり、創立者の専門であった刺しゅうの掛軸や学園の歴史、写真等を展示したいと考えています。今年度中には完成する予定です。小規模な展示館となりますが、「念願は人格を決定す 継続は力なり」のことばと創立者の教えがいつまでも作陽の学生たちに受け継がれるようにしたいと思っています。完成しましたら是非一度足を運んでください。

今年は異常な天候が続いています。くれぐれも元氣でご活躍されますことを祈っています。



創立者 松田藤子先生



鶴声会 近況報告



くらしき作陽大学鶴声会

副会長 片山 嘉政

今年度、鶴声会総会を平成26年10月にくらしき作陽大学のキャンパスを会場として開催します。

総会に併せて、毎回工夫を凝らしたイベントや講演などを開催していますが、今回も音楽学部より演奏会、食文化学部より健康に関する講演、子ども教育学部よりイベントを計画しております。

音楽学部卒業の皆様には多数ご参加いただいておりますが、食文化学部、子ども教育学部を卒業された皆様も是非この機会にご参加いただき、交流を通してさらに深く卒業生としての絆を築いていただければと思います。

各地の同窓会におかれましては活発な活動が行われています。関西支部総会をはじめ、山口県支部総会、愛媛県支部総会、高知県支部総会、鹿児島県支部スプリングコンサートなどいずれのイベントも恒例となっています。また、大学と連携しての吹奏楽クリニックも今年は高知県、香川県、鳥取県で実施され、また引き続き計画がなされています。

昨年度は沖縄県支部総会も開催され、沖縄県においても作陽の精神が根付いていることを感じました。

皆様の地域におかれましては積極的に同窓会活動にご参加いただけますようお願い致します。

最後に、10月に倉敷の地でお会いできますことを楽しみにしております。

元氣でお過ごし下さい。



吹奏楽クリニック



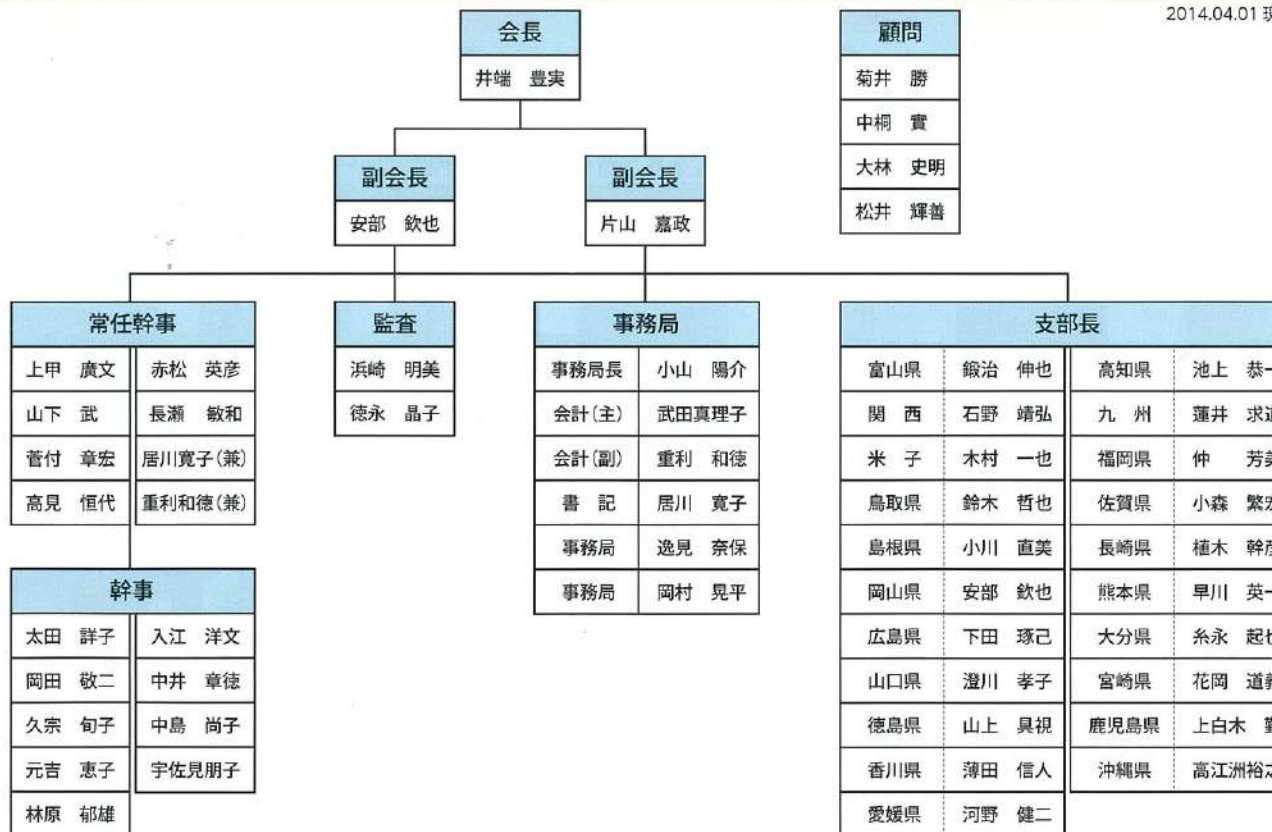
鹿児島県支部スプリングコンサート



高知県支部ミニコンサート

鶴声会 組織図

2014.04.01 現在





支部長挨拶



くらしき作陽大学鶴声会 関西支部

関西支部長 石野 靖弘

(作陽音楽大学9期生)

音楽大学を卒業して35年。まだまだ、日本の風土は芸術文化を大切に、芸術家を育み応援して行くことが、根付いていないように思います。芸術を通した人間力向上は、すべての人々が心豊かで支え合う社会になるために大切なことです。数字で表せないことは切り捨て、勝ち負けばかり大切にするのでは、心は育めないのではないのでしょうか。音楽を勉強し、地域社会の中で生活し、次代を担う子どもたちの未来を真剣に考え、自分のできることを考えた時、音楽を含め芸術文化の発展に寄与することが、私の使命だと思に至りました。卒業する後輩たちにも、芸術文化の裾野を広げ、子どもたちの感性を豊かに育み、聴衆とともに自分も育つ環境づくりの大切さを考えていただきたいと思います。現在、18年間続けてき



た「音楽を通した子育て支援活動」の一環として、各方面でご活躍の先輩・後輩諸氏のご協力の下、神戸にブローの吹奏楽団を立ち上げるべく準備中です。若い音楽家が育ち、子どもたちが心豊かに育つ地域社会をつくるため本業の傍ら、奮闘中。同窓生と集い、親睦を深め、作陽の発展のために関西支部を立ち上げて8年。総会・懇親会ともに出席者は少ないですが、毎年楽しみにして下さる方々も増えています。お互いの近況報告や、情報交換の場として、多くの方々の参加をお待ちしています。

くらしき作陽大学鶴声会 沖縄県支部

沖縄県支部長 高江洲 裕之

「沖縄県支部設立」について

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。さて鶴声会ではすでに、北は富山、南は鹿児島まで20の地方支部が設立されており、私ども沖縄県としましても多くの卒業生が作陽で学んだ多くの知識を駆使し私たち沖縄県社会や教育のためにご尽力いただいております。また仕事の関係上で県外出身の卒業生の方々の多くが沖縄県で活躍されております。そこでこの度、母校を同じくする同窓生の相互の親睦を深めるとともに、母校である「くらしき作陽大学」の今後の発展に寄与する目的で「くらしき作陽大学同窓会鶴声会沖縄県支部」を設立いたしました。

まだ発足したばかりで、運営には多くの方々



のご協力を賜ることが多いと思いますが、他支部の活動を参考にしっかり運営してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。また設立にあたり松田理事長をはじめ鶴声会副会長の片山様には多大なるご協力を賜りました。衷心よりお礼を申し上げ、あいさつと致したいと思います。

くらしき作陽大学総会について

今年は、2年に一度の総会の年です。ここ最近8月、9月に開催をしていましたが、今年は10月11日(土)と少し涼しくなった時期の開催となります。10月といえば学園祭シーズンですが、今年の開催日はくらしき作陽大学の学園祭の日でもございます。詳しい日程は下記の通りでございます。皆様是非総会に足をお運びいただき、懐かしい仲間と共に青春時代にタイムスリップしてください。また、準備の都合上、9月30日(火)までに、同封のハガキにて出欠のご連絡をお願いいたします。なお、欠席される場合も、委任状となりますので、お手数ですが、返送いただきますよう、お願いいたします。

- 日程**.....
- 10月11日(土)
 - 12時30分 受付(1号館ロビー)
 - 13時00分 総会(1-531)
 - 13時30分 音楽イベント..... 体育館
 - 14時15分 子どもイベント..... 幼稚園
 - 15時00分 食文化イベント..... 1-531
 - 16時15分 送迎バス(大学発)..... 懇親会会場行
 - 16時30分 懇親会受付..... セントイン倉敷
 - 17時00分 懇親会..... セントイン倉敷
懇親会会費 4,000円

- イベント内容**.....
- 音楽/Drum&Corps "MUSICA" スペシャルコンサート
同窓会鶴声会より、Drum&Corps "MUSICA" に寄贈した衣装をまとい、卒業生のために演奏披露させていただきます。結成13年目を迎える"MUSICA"の演奏をお楽しみください!
 - 食文化/山下静江学部長による食についての講演
食のスペシャリスト山下静江先生にご講演していただきます。皆さんの興味ある講演をお聞きいただけたと思います。講演内容は、当日のお楽しみに! 乞うご期待!
 - 子ども教育/くらしき作陽大学附属幼稚園見学ツアー
平成25年度にくらしき作陽大学附属幼稚園が開園しました。現在2年目を迎えており、子ども教育学部卒業生2名が幼稚園教諭として、日々奮闘しております。今回は、その2名による幼稚園見学ツアーを行います!

※セントイン倉敷: 倉敷市新倉敷駅前5-203 Tel.086-526-8911

鶴声会役員紹介

顧問		会長		副会長	
S45. 音楽学科	S46. 音楽学科	S49. 音楽学科	S45. 音楽学科	S48. 音楽学科	S52. 音楽学科
H2. 音楽学科					
事務局長		事務局		会計	
H13. 教育音楽学科	H17. 教育音楽学科	H20. 音楽学科	H12. 教育音楽学科	H18. 音楽学科	H10. 音楽学科
常任幹事					
S48. 音楽学科	S49. 音楽学科	S58. 音楽学科	S52. 音楽学科	S59. 音楽学科	S57. 音楽学科
S45. 音楽学科					
幹事					
S45. 音楽学科	S45. 音楽学科	S45. 音楽学科	S46. 音楽学科	H6. 音楽学科	H11. 音楽学科
H17. 音楽学科					
幹事		監査			
H18. 音楽学科	S49. 音楽学科	H5. 教育音楽学科			

くらしき作陽大学1期生同期会の報告 奥村 三千世



①皆様お元気でしょうか。

1期生同期会は、2011年2月に予告状を発送し、2012年10月26日に愛媛県松山市で行われました。その間に東日本大震災が起き、今を大切に生きることをあらためて考えさせられる会となりました。

1期生が2年に一度再会する基礎を作ってくださったのは、津山と岡山に在住の同期生でした。それが長く引き継がれ、守られてきたことを感謝いたします。

前回の開催地松山は、子規が生まれた地であり、漱石が教鞭をとった地であり、子規と漱石の交友の中から虚子をはじめとする若い俳人が育てられ、近代俳句の礎が作られた地でした。秋山好古、真之兄弟の生まれた地でもあり、NHKドラマ「坂の上の雲」の舞台ともなりました。

②私たち1期生は77名で卒業しました。2014年には67歳を迎えます。大学は創立48年目となります。歳月の流れをしみじみと実感します。

同期会は卒業1年目に初めて開かれ、大学が倉敷に移転するまでは、津山で回を重ねました。

同期会からは、元吉恵子、岡田敬二、太田祥子、久宗句子の各氏が教員として、菊井勝氏が職員として大学で働かれ、私たちの励みになっています。またこの方たちが中心となり、津山や岡山在住の同期生とともに同期会の世話を下さり、今日まで続いています。

③作陽音楽大学が倉敷に移転すると決まった年の同期会には、恩師を多数お招きできました。1期生の時代には設備も十分とは言えませんが、先生方と私たちは、大学の将来を背負

っていることと、新しい未知の世界への希望を抱いて、吉井川沿いの道を歩き、小高い丘にある学び舎で4年間を過ごしたのです。

卒業までに校舎も増え、設備も充実していく過程を体験した師弟の関係は、思い出を共有しながら長く変わらず続いています。

④年を重ねてくると、大学時代をふり返ったり、近況を語り合ったり、悩みや楽しいことを共有できることが元気になる源だと痛感します。

大学の同窓会をはさみ、2年ごとに津山と各地で集まる同期会。福岡、松山と経過して、次回は神戸あたりでしょうか。観光もかねて、また地元同期会の協力も得て、これからも絆を深めていきます。

⑤松山での同期会は、東日本大震災の後でもあり、介護に追われる人が増えている中でもありましたが、20名が参加して下さいました。

久しぶりの再会でしたが、会えば不思議と若いころの自分たちに戻ります。

今回は、今まで話したことのない話題や、知らなかった大学時代のことなどを、みんなでテーブルを囲んで話ることができました。長く同期会を続けてきたからこそ生まれてきた強い結束だと感じました。

⑥くらしき作陽音楽大学の卒業生や在校生の皆さん、私たちは、大学の名前のように、作州、山陽、倉敷の地域の中で学び、歴史を重ねてきました。

私たち一期生のように、少人数でもいいですから、同期会や支部会等を大切に育てていって下さい。各地から集まってきて語り合える場が広がっていくことを願っています。



平成27年夏 学教、学幼(1期~10期)同窓会開催予定

音楽学部教育音楽学科幼児音楽専攻・5期代表

中西 由美子

2012年10月6日(土)に、作陽音楽大学 教育音楽学科 幼児教育専攻(1期~12期)の同窓会を岡山全日空ホテルで開催しました。松田理事長、有本学長補佐、堤先生、吉田先生、中桐先生、矢野先生、草下先生もご出席下さり、久しぶりにお

会いた諸先生方や、諸先輩方の懐かしいお姿に時間を忘れ楽しいひとときを過ごすことができました。会の終わりに草下先生の指揮にて、全員で合唱し、懐かしい学生時代を思い出しました。皆さん、それぞれの分野でご活躍とのことでした。また、元気で皆様と再会できますように...と約束をして閉会しました。平成27年・夏には、学教・学幼(1期~10期)の同窓会を開催する予定です。

ご協力よろしくお願い致します。

拝啓! 同窓生のみな様!! 私たちモスクワ音楽院を修了しました



山中 恵理子 (ヴァイオリン)

2006年モスクワ音楽院特別演奏コースを卒業後、渡露。モスクワ音楽院研究科を経て、2011年大学院修士号を取得。2012年より日本での活動をスタートさせ、現在は福岡を拠点にソロ・室内楽・オーケストラで活動。

私の音楽人生は、自分自身のやる気や音楽への愛情のみで築かれたものではないと思っています。まず、作陽時代に師事したロシア人の先生との出会い、一緒に過ごした仲間達、留学中に会った沢山の音楽家達、留学中も日本で見守って応援してくれていた仲間達。まだまだ書ききれませんが、私は、沢山の人の出会いと交流を通して、どれほどの愛情を音楽に持ち続けることができるのか、どんな活動をしていきたいのかを自問自答することができました。作陽での大学生活は、練習が閉まるギリギリまで籠り、その後はいつも友達と一緒に。その時の話題はいつも音楽。モチベーション

や演奏に対してのダメ出しをし合ったり、憧れの作品や作曲家や演奏家についての話を延々としたりする毎日でした。留学してからは、その会話が日本語からロシア語になっただけで、内容はほとんど同じです(笑)。

好きで始めた楽器や音楽がいつか専門になり、仕事になり、時にシビアな現実に思い悩む時があります。でも、好きだからできるし、好きじゃないとできない。好奇心が湧く限りは音楽は止められません。「作陽同窓生でオーケストラ公演」というのが私の夢。またいつか皆で同じステージに立てる日を心底心待ちにしています。



こんにちは!

私は、くらしき作陽大学音楽学部音楽学科モスクワ音楽院特別演奏コースピアノ専攻出身の山下陽子です。岡山県生まれで、山陽女子高等学校音楽科出身です。高校の頃から本格的に音楽の道へ進むことを決めて、自分の恩師の勧めもあり、ロシア人の先生方が教えられている、くらしき作陽大学モスクワ音楽院特別演奏コースに入学しました。

大学に入ってから、週2回のレッスンを著名なロシア人の先生から受けられ、先生の音楽から発せられるパワーやロシア人の伝統的なテクニック、音楽性を間近で感じる事ができました。

卒業後は、大学の日本人の先生の後押しもあり、モスクワ音楽院へ留学することを決めました。

1年目は研究科に在籍し、先輩方に続いて大学院合格を目指して必死に勉強しました。

晴れて大学院へ合格することができ、2年目からは哲学や音楽理論、心理学などの授業も受けながら、ピアノの勉強を続けていきました。

慣れてきた留学3年目に初めて外国で国際コンクールを受けました。ブルガリアの『音楽と平和国際コンクール』を受けて、リストの作品に対して特別賞を頂きました。そして、大学院修了予定の最後の年に、サンクトペテルブルグで行われた『マリア・ユーディナ国際コンクール』を受け、そこでは、プロコフィエフの作品に対して特別賞を頂きました。留学中、最後に受けた

山下 陽子 (ピアノ)



コンクール、イタリアの『ペーザロ国際コンクール』では、第1位を頂くことができました。そして、大学院を修了し、現在は母校のくらしき作陽大学で、ロシア人の先生方のレッスンの通訳として働いています。

自分の今まで勉強してきた成果を発揮できるように、これからも、通訳のお仕事、後進の指導、そして演奏活動をしていきたいと思っています。

留学を通して、何事もやる気、そして強い気持ちが大切だと思いました。

常に目標を持って日々精進していきたいと思えます。くらしき作陽大学鶴声会の方には、いつも温かいご支援を頂き、感謝しております。

これからもどうぞよろしくお願い致します。



上甲先生にご登場いただきます。



じょうこう・ひろふみ

上甲 廣文

S48年3月 作陽音楽大学卒業
S48年4月 愛媛県立小田高等学校赴任後、4つの高校と2つの特別支援学校へ勤務
H23年4月 作陽音楽短期大学着任、現在に至る。

いはストレートが多く、たまに投げられる変化球にありがたみを感じていました。入学したのが開学4年目ということもあって大半の学生が大学や勉強への熱い思いと行動力を備え、常にフルパワーで生きるのが作陽の生き方。このことが現在の自分に大きな影響を与えてくれたことは間違いありません。また、個人練習をするための練習室の確保が難しいことから早朝や昼休みなどの人が練習しない時間帯を確保し、「練習をやめろ」というもう一人の自分と格闘していました。

印象に残っている先生

印象に残り続けている先生、それは主科実技の樗弘先生です。お世辞にも上手いと言えない下手くそラップの私を、愛のムチをもって根気強くそして丁寧に御指導いただいた先生の存在は非常に大きいものがあります。不甲斐ない演奏に「メトロノームでさらい直してこい」とレッスン室から放り出された経験は、その後の私から甘えを取り除きました。「プロの演奏家を目指したい」との私の希望をほんの1秒で一蹴し、「アカン、おまえは教師になれ」といただいた一言は私の人生を決定するに十分。私自身の力量と向き不向きを見抜いて出されたこの指導は、師匠ならではの大きな教えとなり感謝しています。

同窓生へのメッセージ

大学の倉敷移転後、食文化と子ども教育の新たな学部が誕生したことで、鶴声会も一段と大きな組織となりました。学内は1000人を超える若者であふれ、昼休みの学食の混み具合はまるで縁日そのもの。音楽の学生を見つけるのに一苦労です。私が所属する短期大学では来年度から学科が音楽と幼児教育の二つに専攻分離され、只今準備作業の真っ最中ですが、両専攻が互いに刺激し合って切磋琢磨できるよう学習環境の整備に取り組みたいです。同窓生みなさん、緑あふれる広大なキャンパス訪問ツアーを企画してみませんか。

卒業後の活動

愛媛県の音楽の教員として、小田・内子高校（兼務）、大洲高校、伊予高校、宇和島東高校、総合教育センター、今治看護学校、宇和特別支援学校で勤務し、授業や学級担任の他に合唱部と吹奏楽部の顧問を務め、総合教育センターでは生徒指導や教育相談を担当しました。中でも部活動の指導を通じて音楽の文化活動や各種コンクールに参加し、全国に数多くの音楽仲間ができたことは貴重な財産です。

現在の仕事

平成23年4月から縁あって作陽音楽短期大学に奉職することとなり、短期大学と音楽学部の学生に教職課程の音楽科教育法と音楽教育実践研究、教職実践演習を指導しています。

音楽科教育法では、学習指導要領の解説の他に、学習指導案の立案や模擬授業、教員採用試験の対策や生徒指導にも触れ、教員として、そして一人の人間としてのあり方生き方についても学生と学び合っています。

学生時代の思い出

それは沢山の偉大な先輩方と気のいい仲間恵まれたこと。そして練習室での孤独な自分です。当時の音楽専攻生は大半が男子学生であったことから、物言



前川 希帆さん (まえかわ・きほ)

音楽学部音楽学科1年

私の高校時代の恩師は作陽大学の卒業生であり、音楽を通して、沢山の経験をさせて頂きました。先生は時には厳しく、時には優しく人として尊敬できる所が沢山あり、先生と接していく中で将来先生のような指導者・演奏者になりたいという夢を抱き、作陽を進学先を選びました。

そうした中、私は、入学試験に向かう道中で突然事故に巻き込まれました。

運転していたのは無免許且つ酒気帯び運転の男性でした。事故直後私は前歯を4本根元から失い、頬は破れ、唇は裂け、再びトランペットが吹けるようになるか不安でたまりませんでした。ですが、家族・高校の先生方、沢山の方々に支えていただき再出発をする決意を固めることができました。

入学して全く自分の思うように吹けず悔しい気持ちが込み上げ涙を流したこともあります。また、夏にはインプラントを行う予定です。これから先困難で挫折そうになる事が沢山あると思いますが、自分なりに前向きに頑張っていきたいと思っています。

今井 梓さん (いまい・あずさ)

食文化学部栄養学科4年

私は、中学校の頃に母親から管理栄養士という職業があるということを教えてもらいました。そこで、漠然と人の役に立てる仕事をしたいという思いが元々あったこともあり、管理栄養士の資格を取得するためくらしき作陽大学への進学を決めました。

実習の中で大変だと感じる時もありましたが、対象者の方々の笑顔にふれることができ、難しさ以上にやりがいや楽しさを知ることができました。

将来は、多くの人に笑顔になってもらえるような食事を提供する管理栄養士になりたいです。



大江 綾さん (おおえ・あや)

子ども教育学部子ども教育学科4年

私は小学校教諭を目指しながら大好きな音楽や特別支援教育を専門的に学べることに魅力を感じ、くらしき作陽大学子ども教育学部を選びました。

現在は、同じ夢を持った仲間たちと、勉学に励んだり、児童文化部「ぱれっと」の活動や教育支援ボランティアで実際に子ども達と関わることを通し実践的なスキルを身につけています。

将来は、子どもが毎日学校に来るのが楽しいと思えるような学級をつくれるよう、子どもの心に寄り添い確かな指導力のある小学校教諭になりたいと思っています。



イベントガイド



日付	曜日	会場	開場	開演	タイトル	内容	入場料(当日料金)
9月26日	金	藤花楽堂	18:30	19:00	作陽ファカルティコンサートⅢ 居川寛子 ピアノリサイタル	居川寛子講師によるピアノリサイタル	一般: 2,000円 (2,500円)
9月28日	日	藤花楽堂	13:30	14:00	東京藝術大学附属高校、岡山城東高校、くらしき作陽大学交流演奏会	東京藝術大学附属高校、城東高校、くらしき作陽大学との交流演奏会	無料
10月1日	水	聖徳殿	18:15	18:45	平成26年度特待生演奏会(1、2年生)	H26特待生(1、2年生)による演奏会	無料
10月8日	水	聖徳殿	18:15	18:45	平成26年度特待生(3、4年) & コンクール入賞者コンサート	H26特待生(3、4年生)による演奏会	無料
10月18日	土	藤花楽堂	13:30	14:00	第47回くらしき作陽大学管弦楽団定期演奏会	ワーグナー/楽劇「ニルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲、モーツァルト/交響曲第31番「ハバ」、ヴァイオリンとオーケストラのためのアダージョとロンド、ドヴォルザーク/交響曲第9番「新世界」	一般: 2,000円 (2,500円) 学生: 1,000円 (1,500円)
11月16日	日	藤花楽堂	13:30	14:00	吹奏楽(教育系) & Drum&Brass Corps "MUSICA" 研究発表会	吹奏楽およびマーチングステージドロールの演奏会	500円
11月19日	水	聖徳殿	18:15	18:45	モスクワ音楽院特別演奏コース学内公開演奏会Ⅳ	音楽学部モスクワ音楽院特別演奏コースの学生による演奏会	無料
11月22日	土	藤花楽堂	13:30	14:00	第27回さくよう歌舞座	箏・三絃による演奏会(出演:米川文子(人間国宝)、米川敏子、邦楽専修生 他)	500円
11月29日	土	藤花楽堂	13:30	14:00	吹奏楽研究発表会	吹奏楽(演奏系) 研究発表会	未定
11月30日	日	藤花楽堂	13:30	14:00	作陽ファカルティコンサートⅣ 森悠子 ヴァイオリンの調べ	森悠子教授を中心としたヴァイオリンコンサート	一般: 2,000円 (2,500円)
12月23日	火	藤花楽堂	18:30	19:00	作陽ファカルティコンサートⅤ 長瀬敏和 サクソフォンリサイタル	長瀬敏和准教授を中心としたサクソフォンリサイタル	一般: 2,000円 (2,500円)
1月20日	火	聖徳殿	18:30	19:00	第3回作陽弦楽合奏団定期演奏会	作陽弦楽合奏団による第3回定期演奏会	無料
1月21日	水	聖徳殿	18:15	18:45	モスクワ音楽院特別演奏コース学内公開演奏会Ⅳ	音楽学部モスクワ音楽院特別演奏コースの学生による演奏会	無料
1月23日	金	藤花楽堂スタジオ	18:15	18:45	第9回音楽デザイン専修作品発表会「ミライヘントピラ」	音楽デザイン専修生によるオリジナル音楽 DVD 作品発表会	無料
1月25日	日	藤花楽堂	13:30	14:00	ウインド・フィルハーモニー特別演奏会	指揮者に宮川彬氏、小林恵子氏をむかえる特別演奏会	未定
2月8日	日	藤花楽堂	13:30	14:00	作陽ファカルティコンサートⅥ 渡邊康雄 ピアノリサイタル	渡邊康雄教授によるピアノリサイタル	一般: 2,000円 (2,500円)



日付	曜日	会場	開場	開演	タイトル	内容	入場料(当日料金)
2月13日	金	藤花楽堂	13:30	14:00	大学院ハーフリサイタル	大学院1年次によるハーフリサイタル	無料
2月13日	金	ルネスホール	18:30	19:00	2014 作陽シリーズコンサートⅡ 長岡京室内アンサンブル演奏会	長岡京室内アンサンブルによる演奏会	一般: 3,000円 (3,500円) 学生: 1,000円 (1,500円)
2月19日	木	藤花楽堂	13:30	14:00	大学院修了演奏会	大学院生による修了演奏会	無料
2月20日	金	藤花楽堂	13:30	14:00	大学院修了演奏会	大学院生による修了演奏会	無料
2月22日	日	藤花楽堂	13:30	14:00	大学院修了演奏会	大学院生による修了演奏会	無料
3月8日	日	聖徳殿	13:30	14:00	作陽ファカルティコンサートⅦ 菅付章宏 オーボエ室内楽の調べ	菅付章宏准教授によるオーボエを中心とした室内楽の演奏会	一般: 2,000円 (2,500円)
3月14日	土	藤花楽堂	12:30	13:00	平成26年度卒業・修了演奏会	H26卒業・修了する成績優秀者による演奏会	無料
3月15日	日	藤花楽堂	12:30	13:00	平成26年度卒業・修了演奏会	H26卒業・修了する成績優秀者による演奏会	無料

各県別会員数

(平成26年5月末現在)



年度別会員数

卒業年	音楽学科	音楽教育学科	合計	卒業年	音楽学科	音楽教育学科	合計	卒業年	音楽学科	音楽教育学科	合計
1970	77		77	1980	115	50	165	1990	76	62	138
1971	77		77	1981	112	55	167	1991	104	44	148
1972	109		109	1982	115	54	169	1992	98	46	144
1973	96		96	1983	114	59	173	1993	131	51	182
1974	96		96	1984	113	52	165	1994	128	68	196
1975	102		102	1985	118	59	177	1995	138	57	195
1976	144		144	1986	122	61	183	1996	123	59	182
1977	154		154	1987	122	64	186	1997	123	57	180
1978	145		145	1988	101	53	154	1998	134	58	192
1979	141	41	182	1989	96	41	137	1999	133	58	191
								2000	121	50	171

卒業年	音楽学科	音楽教育学科	食生活学科	食産業学科	合計
2001	158	45	104		307
2002	161	71	112		344
2003	138	49	108		295
2004	124	63	115		302
2005	104	58	113		275
2006	105	68	51	103	345
2007	116	59	46	106	336
2008	104	50	61	101	352
2009	106	59	52	88	347
2010	75	31	42	97	260
2011	72	39	48	95	274
2012	82	35	23	69	291
2013	55	33	46	8	269
2014	55	22	43	78	303
合計	5033	1881	964	745	9077